

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島町潮田4
電話2-9772

隠岐の島町 教育活動の紹介

隠岐の島町教育委員会が取り組んでいる教育活動の様子を紹介します。

社会教育に関して

隠岐の島町では「わいらの島の子育て協働プロジェクト」に取り組んでおり、子供たちの社会性や自主性、創造性等の豊かな人間性を涵養する目的で、地域と学校と家庭が連携・協働して教育を行う体制づくりを進めています。

【地域学校協働活動支援】

各小・中学校に、地域コーディネーターを配置し、授業等における人材探しや学習環境整備、登下校の見守り等、学校への多様な支援活動の充実をめざしています。

今年度も、多くの学校で地域コーディネーターを活用していただいています。新型コ

ロナ感染症に配慮しながら、可能な範囲で体験的な学習活動が実施され、子供たちの興味や関心を高め、より豊かな学びとなっています。

地域と学校がさらに連携・協働することで、子供たちの成長や魅力ある地域づくりにつながっていくことを期待しています。

【放課後支援】

子供の居場所づくりや体験・交流活動を目的に、すべての小学校区で公民館を中心に「放課後子ども教室」を行っています。

子供たちは、宿題やトランプ、鬼ごっこなどをしていますが、時にはジャガイモ掘りやポーランドの遊びなどの体験活動を行っています。地域の方々に見守られながら、伸び伸びと楽しみながら活動しています。

一方で地域の方々は「放課

後子ども教室」に関わることで自己有用感を高めるとともに、地域のネットワーク作りにもつなげています。



【家庭教育支援】

身近な地域において、保護者が安心して家庭教育を行うためには、子育てについて悩みを共有したり、楽しく学んだりしながら保護者同士がつながることが大切です。その一助として親学（親学）プログラム（参加型学習会）を実施しています。

七月には、東部社会教育研修センターの協力を得ながら、「親学ファシリテーター養成講座」を行い、親学の意義やグループワークで行うカードワークなどの手法を学び、新たに十名の家庭教育を支える人材が誕生しました。

今年度も小学校の就学時健康診断、中学校の一日入学に合わせて親学（親学）プログラムを予定しています。その他にもPTA研修、学級懇談会、公民館の子育て講座等でも活用できます。お気軽にご相談ください。



（文責 派遣社会教育主事 古木）
学校教育に関して

学力向上対策事業の一環として、各分野の第一人者や先進的な取組をされている方をお招きし、講演会（セミナー）を開催しています。今年度は、次の三回を実施します。

①道徳教育セミナー

八月五日
演題 「道徳科における『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて」
講師 畿央大学 島恒生氏

②指導力向上セミナー

九月十六日
演題 「子どもを中心にした授業や授業研究の在り方」
講師 慶応義塾大学 藤本和久氏

③特別支援教育セミナー

（調整中）
道徳教育セミナーについては、多くの先生方に参加していただき、多様な学びを共有することができました。

島講師の講演の中で、特に心に残ったものとして「道徳の授業は子供がつくるもの。」という言葉です。

「子供の発言に対して『なるほど！』と子供たちがつぶやく授業。」「子供たちが自分の思いを熱く語る授業」を展開して欲しいということでした。

ややもすると子供の発言に教師が共感者となり授業を進めてしまっている場面も多く見られます。

現実起こっている様々な問題や今後予測もできないような場面を乗り越えていくのは子供たち自身です。そのために必要な資質・能力を育む

ためには、授業の中で

- ①子供が自分事として捉え
 - ②多面的・多角的に考え
 - ③議論していく
- ことが必要であることを改めて整理することができました。

【参加者の感想より】

○「ねらいに迫る発問」「発達段階に合った発問」「予想される児童生徒の発言」「切り返しの発問」などを綿密に計画して授業をしていきたいと思いました。

○しっかりとしたねらいを持つことで、子供がワクワクするような道徳になると実感しました。二学期が楽しみです。夏休みにじっくり教材研究をします。

セミナーに参加された先生方が、それぞれに感じられたことを、授業を通して子供たちに還元していただければと思います。また、今後予定している「指導力向上セミナー」、「特別支援教育セミナー」にも積極的にご参加ください。

（文責 派遣指導主事 仲山）